

オープンデータ利活用総合基盤 システム(仮称)の概要と計画

B班(梶原・法常・町屋・松原)
平成28年8月26日

VMISO等の再検討

VISION

DATA

for Your

HAPPINESS

研究データを解き放ち人びとを自由にする!!

MISSION

あらゆるオープンデータが
見つけやすく、使いやすい
場[コミュニティ]を実現する。
そのことにより、全社会の研究・
イノベーションを加速させる。

STRATEGY①

STRATEGY For「あつめる」	Missionとの対応および必要性
データDOIを軸としたデータリポジトリの構築	あらゆるオープンデータが 研究者ID、データIDにより見つけやすく
APIを利用した既存オープンデータとの連携によるポータル化	あらゆるオープンデータが
汎用的なメタデータスキーマの採用	見つけやすく 実質的利活用(検索)

STRATEGY②

STRATEGY For「さがす」	Missionとの対応および必要性
あらゆるID・メタデータを活用し背景を分析することで必要な研究データを探索	見つけやすく、
ライセンス別検索システム	見つけやすく、使いやすい
データナビゲーションシステム	見つけやすく、
知識発見のレコメンデーション	見つけやすく、

STRATEGY③

STRATEGY
For「つかう」

Missionとの対応および必要性

利用者IDを軸にし、ゲーミフィケーション的要素を持つ

場「コミュニティ」(インセンティブの提供)

利用者の段階に対応したサービスを提供する

使いやすい
実質的利活用(教育)(ツール提供)

TARGET

(**コア**ターゲット)

- **提供者:**

研究者、研究機関

- **利用者:**

**研究者、学生、企業のR&D部門、
企画部門**

INCENTIVE①

(提供者側)

- 巨人の肩をつくる(学術への貢献)
- 業績評価
- フィードバック
(そこからあらたな研究につながる)

INSENTIVE②

(利用者側)

- **利用可能なデータの一元的な検索
(=研究資源の合理的活用)**
- **新しい研究イノベーションの可能性**
- **特に学生などの初学者にとっては**
 - **利用可能なデータの一元的な検索**
 - **使いやすさ**

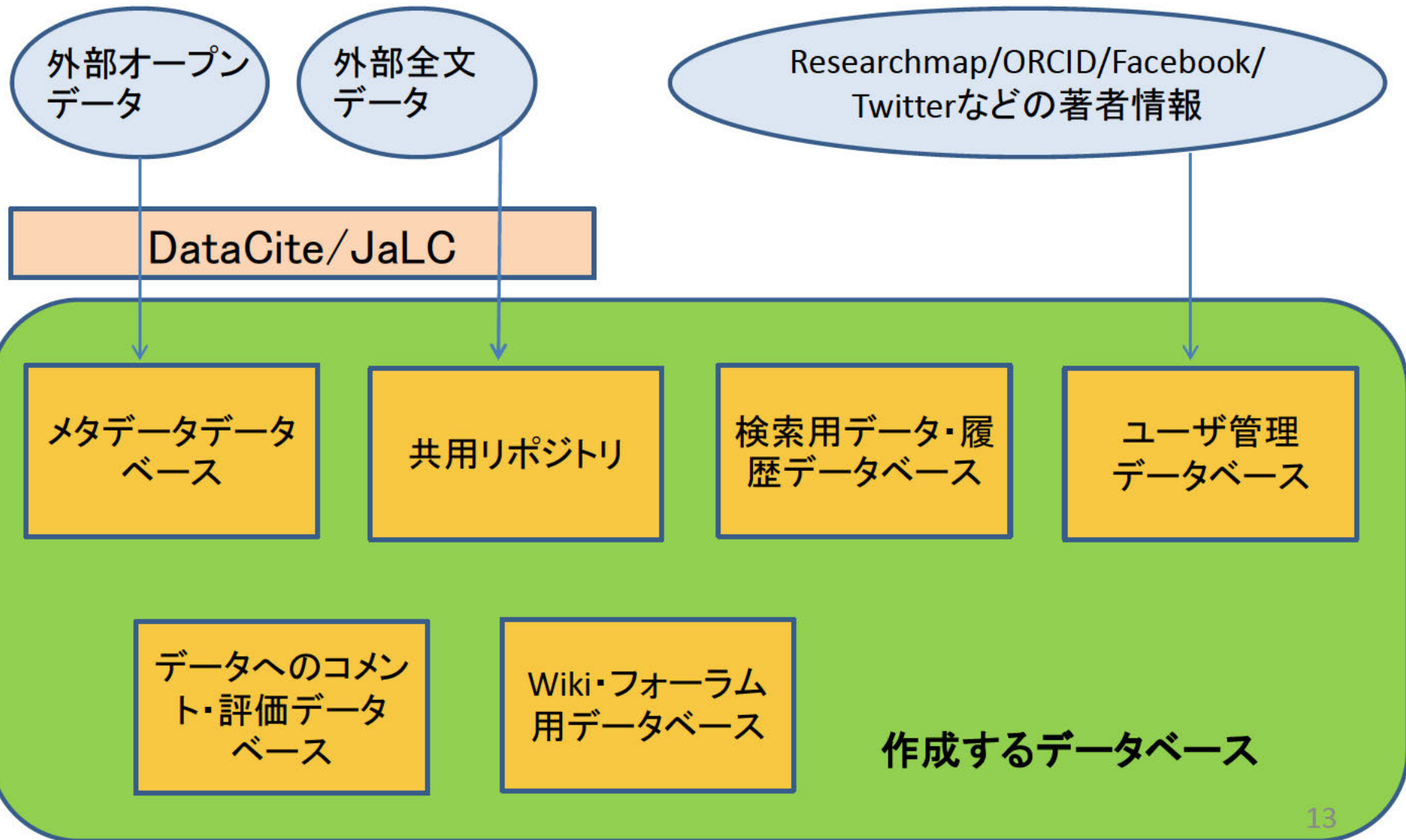
INSENTIVE③

(図書館員)

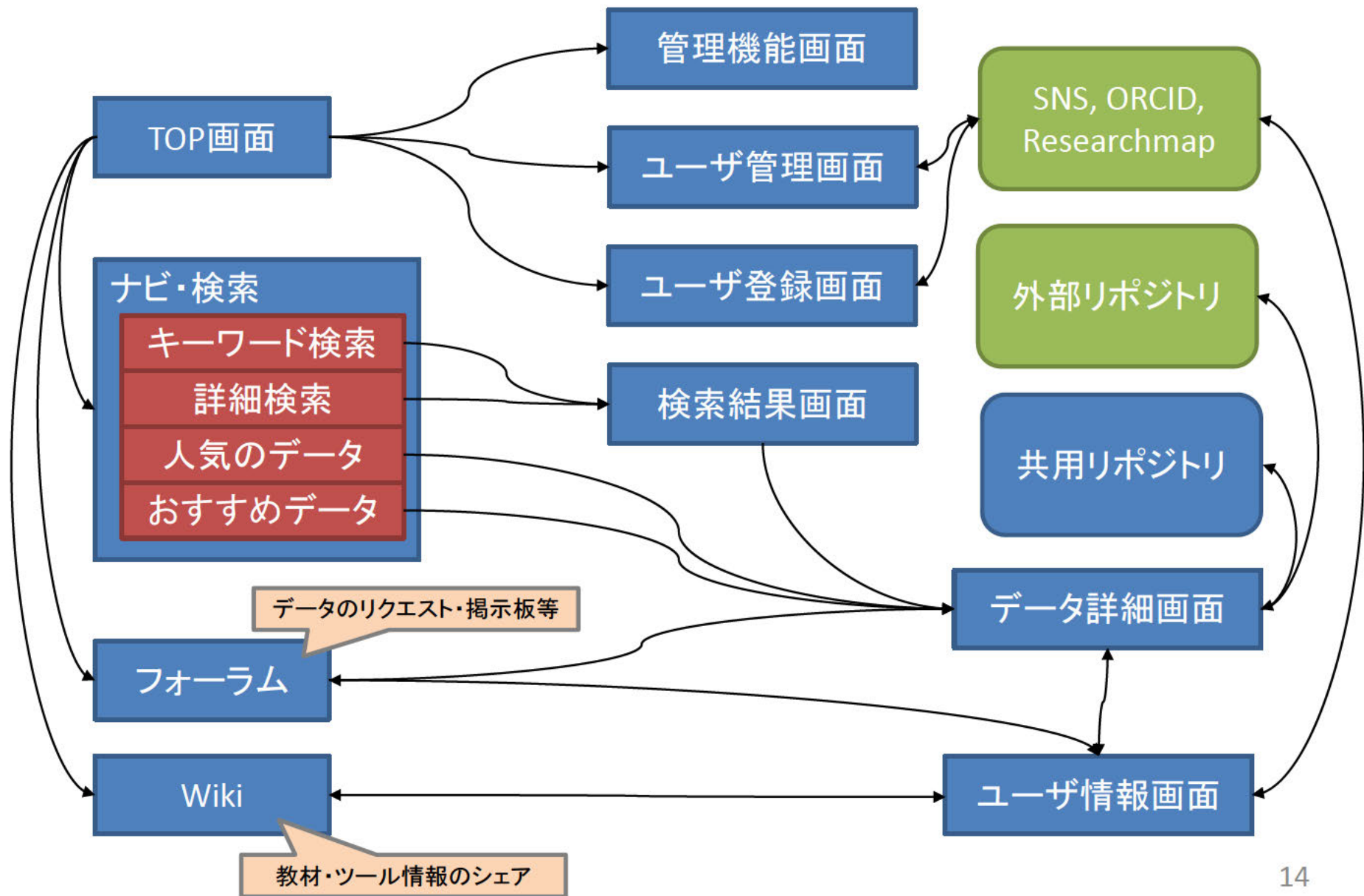
- レファレンスツールとして活用
- データキュレーターとしての図書館員をサポート

システムのモデル化

システムの概念モデル



画面遷移モデル



最終発表会までのタスク・スケジュール

最終発表会までのタスク整理

- サービス名を考える
- 画面設計(ワイヤフレーム)から機能を詳細化
 - ユーザ画面、データ画面、検索画面、フォーラム画面、管理画面、トップ画面、通知機能等
- メタデータスキーマ、メタデータマッピング設計
- API設計
- 仕様書を書く
- 発表スライドを作る

最終発表会までのスケジュール(1)

タスク	期間	担当
サービス名を考える	8/26-9/7	全員
機能詳細化・ワイヤフレーム ・検索機能+データ画面設計	8/26-9/14 中間報告 9/7 完成 9/14	梶原 法常
機能詳細化・ワイヤフレーム ・フォーラム設計+ユーザ画面設計	8/26-9/14 中間報告 9/7 完成 9/14	町屋 松原
機能詳細化・ワイヤフレーム ・管理画面+トップ画面+通知機能	9/7-21 中間報告 9/14 完成 9/21	梶原 松原
メタデータスキーマ・マッピング・ API設計	9/7-21 中間報告 9/14 完成 9/21	法常 町屋

最終発表会までのスケジュール(2)

タスク	期間	担当
全体の再検討・仕様構成検討	9/21-9/28	全員（分担）
仕様書作成	9/28-10/19	全員（分担）
スライド作成	10/19-10/26	全員（分担）
発表準備	10/26-10/31	全員
第3回集合研修	11/1-11/2	全員

※ 毎週1回のオンラインMTG（テキストチャット、ビデオチャット）により進捗管理を行う